

2016年 第27回 全国高等学校アマチュア無線コンテストルール (JARD 創立25周年記念行事)

今回のコンテストは、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会(JARD)様の特別共催で開催することになりました。JARD様は、青少年育成活動にも積極的に取り組まれており、今年創立25周年を迎えられることを記念して、本コンテストを特別共催いただけることになりました。皆様奮ってご参加ください。

1 主催

全国高等学校アマチュア無線連盟(全国高等学校文化連盟アマチュア無線専門部設立準備会)

2 特別共催

一般財団法人 日本アマチュア無線振興協会(JARD)

3 日時

2016年7月18日(月・祝) 13:00JST~16:00JST

4 周波数及び電波形式

7, 21, 50, 144, 430MHz CW, SSB, AM, FM

※JARL コンテスト使用周波数帯を必ず守ってください。

「7MHz帯のSSBでは7.060-7.140となっておりますが、7MHz帯においてはLSB電波を使用しますので、トランシーバの周波数表示(キャリアー表示)では7.063-7.140の間で運用しなければいけない……ということになります。(JARLのページより引用)」

※長時間のチャンネル占有を避け一般局に妨害を与えないこと

5 参加資格

国内のアマチュア局

6 部門とコードナンバー

部門	種目		コードナンバー
高校 (注1)	マルチオペ	シングルバンド	hs-m-7,hs-m-21,hs-m-50,hs-m-144,hs-m-430
		マルチバンド	hs-m-m
	シングルオペ	シングルバンド	hs-s-7,hs-s-21,hs-s-50,hs-s-144,hs-s-430
		マルチバンド	hs-s-m
一般 (注2)	マルチオペ(注3)	マルチバンド	c-m-m
		シングルオペ	c-s-7,c-s-21,c-s-50,c-s-144,c-s-430
	マルチバンド	c-s-m	

(注1) 高校部門にエントリーできるのは、高校生以下(若い層の活性化の意味合いを重視し、数年前より「高校部門(マルチ「HS」)に参加可能な者」を、高校生、中学生、小学生(及び小学生以下)に拡大して好評を得ており、本年度もこのルールとします。)がその局の交信すべてを行った場合に限りです。ここでいう「高校生」は、「高等学校の課程」および、外国の政府等が設置した「高等学校に準ずる学校」に在籍する生徒です。中等教育学校の生徒、専修学校の「高等学校の課程」に在籍する生徒、高等専門学校の1・2・3年生も含まれます。該当学年に在籍していれば

ば、年齢は問いません。また、社団局で、高校部門にエントリーできないオペレータ(例えば、高校社団局における、卒業生や顧問)が1回でもオペレートした場合は、一般部門でのエントリーとなります。

(注2) 一般部門には、高校部門にエントリー可能な局以外が参加できます。

(注3) 一般部門マルチオペには、シングルバンド種目はありません。

7 交信方法など

(1) 呼び出し例

電話「CQ 高校コンテスト」 電信「CQ HS TEST」

(2) コンテストナンバー

RS(T)+都府県支庁番号+オペレータを表す記号(高校部門は「HS」、一般部門は「C」)

例:電話の場合 59 103 C 例:電信の場合 599 11 HS

(3) 得点

電話1点、電信3点(一般局同士の交信も有効)

※同一バンドで電話と電信とで重複交信した場合は、電信の得点のみを計上して下さい。

(4) マルチプライヤー

(ア) エリアマルチ

都府県支庁マルチプライヤーの数の和(合計)

(イ) HS マルチ

コンテストナンバーに「HS」がある局数の和(合計)

(5) 総得点の計算

各バンド毎に、

(交信得点の和(合計)) × {(エリアマルチの和(合計)) + (HS マルチの和(合計))}

以下に、参考例を示します。

コールサイン	内容	Band	Mode	RST	エリア	HS or C	得点	エリアマルチ	HS マルチ
JO1Z**	(高校社団局)	7	SSB	59	11	HS	1	11	HS
JI1T**	(一般個人局)	7	SSB	59	11	C	1		
JO1Y**	(高校社団局)	7	SSB	59	11	HS	1		HS
JS2Y**	(高校社団局)	7	SSB	59	18	HS	1	18	HS
JQ1YCK	(高校特例局)	7	SSB	59	11	HS	0		HS
JS2X**	(一般個人局)	7	CW	599	18	C	3		
JS7X**	(一般個人局)	7	CW	599	2	C	3	2	
JP7X**	(個人局高校生)	7	CW	599	2	HS	3		HS
JQ1YCK	(高校特例局)	7	CW	599	11	HS	3		HS
JQ1YKM/1	(高校特例局)	7	CW	599	16	HS	3	16	HS
計							19	4	7

この後、電信で交信しているの
で、電話の点数を0にする

この場合、7MHz の得点は $19 \times (4+7) = 19 \times 11 = 209$ 点となります。

※JQ1YCKが常置場所から運用している形や、JQ1YKMが群馬に移動している形は、

あくまでも本コンテストの得点の計算方法を示すだけの例です。

8 特例局

次の局は本コンテスト活性化の意味で例外とし、オペレータにかかわらず「高校」として扱います。

・主管の局(JQ1YKM)

・神奈川県の専門部の局(JQ1YCK)

9 表彰

高校部門 各部門すべて3位まで。4位以下は奨励賞。

一般部門 各部門の参加数5局以内は1位のみ、10局以内は2位まで、それ以上は3位まで。

10 提出方法

(1) 郵送による提出

JARL 制定のログ、サマリーシート(同形式書類可)にて全交信をバンドごとにまとめて提出してください。

到着したかどうかの確認を「郵送」で必要な場合のみ、住所・氏名を記入した返信用ハガキ(1通)を同封してください。

郵送による提出をした場合でも、下記<提出確認Webページ>で確認できます。

(ただし、諸事情によりWebページへの掲載が遅れる場合があります。)

<提出先> 〒082-0051 北海道河西郡芽室町東1条南7丁目5-8 正村琢磨方「高校コンテスト」係
※封筒に「高校コンテスト ログ在中」と朱書きして提出してください。
※返信用切手(82円)同封の場合は、順位表を郵送します。

(2) 電子ログによる提出

E-mail : koukoucontest あつとまーく gmail. com(半角英数にて)

注 : 次の<10 提出時の注意>を必ず確認の上、提出してください。

11 提出時の注意

- ・全交信をバンド毎にまとめて提出のこと。
- ・シングルバンド部門とマルチバンド部門の両方への書類提出は不可。
- ・複数のシングルバンドへの書類提出は可。
- ・高校も一般も、マルチオペ部門の場合は、各交信毎に誰の交信か名前をフルネームで記入。
(個人コール所有者は個人コールでも可)

※高校部門にエントリーする場合は、学校名と以下の事項を必ずサマリーシートに記入のこと。

1回でもオペレートした者全員の「氏名(フルネーム)」・「学年」・「無線従事者資格」・「個人コール(あれば)」

(記入忘れが時々見受けられます。顧問の先生や局免の代表者の方は、お手数ですが必ずご確認ください。)

12 提出確認

Webページ(<http://hstest.mg-sci.com/>)

- (1) 郵送による提出、(2) 電子ログによる提出のいずれも提出先到着後、基本的に24時間以内に提出された局のコールサインを掲載いたします。24時間を経過しても掲載がない場合、下記へ問い合わせてください。
(ただし、諸事情によりWebページへの掲載が遅れる場合があります。不着等、様々なケースが考えられます。掲載のない場合は必ず連絡してください。)

13 締切

郵送の場合は、2016年7月31日(金)(消印有効)、電子ログの場合は8月3日(当日の24:00までに必着)。

※ハムフェアでの表彰を実施するため、締切日を上記のようにしています。ご理解とご協力をお願いいたします。
※事情により提出が遅れる場合、必ず事前に連絡してください。事情により考慮の対象とします。

14 個人情報の取扱い

取得した個人情報は、本コンテスト業務遂行(ログ等の集計・審査・賞状発送・問い合わせ等)のためにのみ利用いたします。

15 問い合わせ

書類提出先(郵送の場合、必ず切手を貼った返信用封筒同封のこと。)または、koukoucontest あつとまーく gmail.com(半角英数にて)まで

16 その他

過去にあったことで、ご注意いただきたいことを次に記載いたします。

- ・2%以上の重複交信を得点とした場合失格とします。
- ・「締め切り日を過ぎて届いた場合」失格とします。
ただし、諸事情により提出が遅れる旨の連絡があった場合はその限りではありません。
- ・「郵送で料金不足の状態で最終日の消印で届いた場合」失格とします。
- ・「郵送で料金不足で締め切りまでまだ日数の余裕がある場合」
主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「社団局なのに氏名欄が個人名の場合」
主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「宣誓欄が空欄の場合」
主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「記入してある無線機に疑問を感じた場合」
主催者側から問い合わせをします。
- ・「コンテストルールの理解不足で点数計算を間違えて多く算出している場合」
主催者側で再計算し、減点して正しい点に修正してエントリーとします。
- ・「コンテストルールの理解不足で点数計算を間違えて少なく算出している場合」
そのままの点数としてエントリーします。
- ・「実際にはシングルバンドしか出ていないのに、マルチバンドにエントリーしている場合」
実態に合わせるという観点から、主催者側でエントリーをシングルバンドに変更します。
- ・「実際にはシングルオペで出ているのに、マルチオペにエントリーしている場合」
実態に合わせるという観点から、主催者側でエントリーをシングルオペに変更します。
(「CQを出したが誰からもとってもらえなかった人がいる。」とか「相手局を呼んだが一度も交信できなかった人がいる。」というのはオペになりません。
上記「提出時の注意」にもありますが、マルチオペ部門への提出には、各交信ごとにオペレータ名を記入していただくことになっています。
マルチオペにエントリーする場合は、必ず複数人でオペをしたことがわかるように明記してください。)
- ・「ひとつの局がマルチバンドで参加し、シングルバンド部門とマルチバンド部門の両方へ書類を提出している場合」
このままでは失格です。主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「ひとつの局がマルチバンドに参加し、マルチバンドへは書類を提出せず、複数のシングルバンドにのみ書類を提出している場合」
問題ありません。そのまま受付します。
- ・これ以外の検討事項は ALL JA コンテスト規約に準じ、主催者側で検討します。